

景観形成基準適合状況確認書 (重点地区を除く)

本書は、下記の事項に注意して記載し、景観計画区域内における行為の届出書に添付してください。

- ・計画について、景観形成基準の各項目について、どの様に配慮したか具体的に記載してください。
- ・配慮したことを明確に示すのに、必要に応じ図面を添付してください。
- ・配慮することができなかった場合は、その理由を具体的に記載してください。

【行為の種類】 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物 [専用住宅] <input type="checkbox"/> 工作物 [] <input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 廃棄物等の堆積	届出者	住所氏名	牛久市〇〇町〇-〇-〇〇〇〇 家主 景介
	設計者	住所氏名	牛久市△△町〇-〇-〇〇〇〇 株式会社 河童建設 牛久 建

1 建築物

項目	基準の内容	配慮したこと 又は配慮できなかった理由
共通	①周辺地域の景観の状況を把握し、その調和に配慮する。 ！ 把握した周辺地域の状況を記入	低層住宅地の景観に調和するよう配慮した。沿道商業地として景観の調和に配慮した。周辺の田園風景との景観の調和に配慮した。/申請地周辺は低層住宅地であり、その景観に調和するよう配慮した。自然が多く残る地域であり、その景観に調和するよう配慮した。等
	②周辺地域の良い景観の形成に資するよう配慮する。 ！ 配慮した事項の概要を記入	良好な景観形成に資するよう、建物の色は落ち着いたカラーをベースにし。/ゆとりを持った建物の配置とした。/緑を多く取り入れた。/屋外広告物の大きさ(色)に配慮した。/低層住宅の街並みに調和するよう建築物の形状に配慮した。/自然環境に調和するよう緑地を配置した。等
位置	①本市の主要な展望地からの眺望や主要な景観資源を阻害することがないように配慮する。 ！ 具体的な配慮内容(位置や大きさ)	建築物の高さを0m以下に100からの眺望時に□□より低くなるように配慮した。/植栽を配置し〇〇から眺望時に建築物が目立たないようにした。/景観資源の眺望を阻害しないよう配置した。/主要な景観資源を直接眺望できる場所ではない。等
	②道路境界線から後退するなど、歩行者への圧迫感を軽減するよう配慮する。ただし、街並みが連続している地域の場合は、周辺建物との壁面線の統一に優先して配慮する。 ！ 具体的な配慮内容	道路境界線から0m後退した。周辺建物との壁面線の統一に配慮した。/壁面が歩道面に近接しないよう配置した。/周辺建物との壁面線の統一に配慮した。等
形態意匠	①本市の主要な展望地からの眺望や主要な景観資源を阻害することがないように配慮する。 ！ 具体的な配慮内容(色・デザイン)	周辺の田園風景に溶け込むようアースカラーを基調とした色彩とした。/景観資源の眺望に支障とならないよう周辺への調和に配慮した。/主要な景観資源を直接眺望できる場所ではない。等
	②周辺地域の景観との調和や連続性、まとまりに配慮する。特に歴史的建造物に近接する地域での調和や街路景観の整っている地域での連続性に配慮する。 ！ 具体的な配慮内容(調和・連続性・採用した地域の景観のテーマなど)	シャトー周辺地域の特徴であるレンガ調のデザイン(色彩)を採用した。/旧街道沿いの街並みを再現する和風の建築を採用した。/街路沿いの街並みと調和するデザインを採用した。等
	③建築物の高さは、圧迫感を生じないように配慮する。 ！ 具体的な配慮内容(配慮したことがあれば高さや圧迫感に関し色やデザインの配慮点を記載、なければ位置の②と同じで可)	周辺と同等の高さとした。/歩道からできるだけ後退して配置した。等
	④外壁や屋上などに設ける設備が露出しないよう設置する。やむを得ず露出する場合は、建築物との調和に配慮する。	〇〇(エアコンの室外機・屋上の給水タンク等)にカバーを設けた。/建物と同色に塗装することで調和に配慮した。等
	⑤屋外階段、バルコニー等が建築物本体と調和を図るよう配慮する。	〇〇を建物と同色に塗装することで目立たなくし、建物本体との調和に配慮した。等
	⑥商業・業務系地区の場合、低層階が賑わい空間の形成に資するよう配慮する。	1階を〇〇(店舗・ショーウィンドー・ギャラリー等)にすることで賑わい空間の形成に資するよう配慮した。等

色彩	外壁、屋根、屋上設備等の外観の色彩（ベースカラー）は、以下の範囲とする。ただし、アクセントカラーとして慎重に用いる場合は、この限りでない。	外壁○-○; △-△、屋根□-□ なお、一部の外壁の彩度が YROO を超える部分があるが、使用を水平投影面積の 1/100 以下とし、アクセントカラーとして慎重に使用します。等																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>R</th> <th>YR</th> <th>Y</th> <th>GY</th> <th>G</th> <th>BG</th> <th>B</th> <th>PB</th> <th>P</th> <th>RP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>彩度</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>以下</td> </tr> </tbody> </table> （日本工業規格 Z 8721 に定めるマンセル表色系による）	色相	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	彩度	4	6	4	2	2	2	2	2	2	2		以下									
色相	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP																								
彩度	4	6	4	2	2	2	2	2	2	2																								
	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下																								
材料	①周辺地域の景観との調和に配慮する。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 具体的配慮内容 </div>	地区の周辺の景観との調和に配慮し建築物は○○造△階建ての和風建築とした。/地区の周辺の景観との調和に配慮し一般的な建材を使用した。等																																
	②経年変化により景観を損なうことのないよう、維持管理に優れた材料の活用に配慮する。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 配慮内容（どこに、何を活用したか等） </div>	□□に△を使用することで耐用年数○年とした。/○○については定期的に点検し、経年変化が見られた場合は随時更新することで景観に配慮します。/一般的な材料を使用しており、随時維持管理を行う。/一部無垢材を使用しているが、適正な維持管理を行う。等																																
	③光沢性のある素材や反射光の生じる素材を壁面の大部分にわたって使用しないよう配慮する。	光沢性のある素材や反射光の生じる素材は使用していない/光沢性のある素材の使用は全体の 1/10 以下とすることで景観に配慮した。等																																
外構・植栽	①敷地の接道部の塀、柵、植栽等については、沿道に対する開放感、地域の景観との調和や連続性、まとまりに配慮する。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 外構等で配慮した事項があれば具体的に </div>	○○の高さを□m 以下とすることで、沿道に対する解放感、地域の景観との調和や連続性に配慮した。/歩道側に柵を設けるが、人の目線より低くするよう配慮した。/歩道側には配置しないよう配慮した。等																																
	②植栽は、周辺地域の景観と調和するよう、樹種も考慮し、高木・中木・低木の適切な配置に努め、できる限りの緑化に配慮する。また、敷地内に既存の樹木がある場合、その活用に配慮する。	景観との調和を考慮し中木の○、低木の□を植栽した。/既存の△をシンボルツリーとして残し活用した。/周辺との調和を考慮し、中木、低木のみを採用した。等 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 植栽等で配慮した事項があれば具体的に </div>																																
	③敷地内の空地は、歩行者空間の確保や緑化などの活用に努め、沿道に対する開放感、地域の景観との調和や連続性、まとまりに配慮する。	敷地内の空地は芝生として緑化に配慮した。/空地を沿道沿いに集めることで解放感の創出に配慮した。等 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 敷地内空き地で配慮した事項があれば具体的に </div>																																
その他	①敷地内の駐車場は、道路等の公共空間から駐車車両が見えにくい構造や位置とし、また、植栽等により周囲の景観との調和に配慮する。	ガレージを○色とし目立たない色とした。歩道との間に植栽を配置し歩行者から見えにくいよう配慮した。/駐車場の歩道側に植栽を配置した。等 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 駐車場の見え方で配慮した事項を記載 </div>																																
	②自転車置場、ゴミ集積所、自動販売機、その他の設置物等の設置に当たっては、建築物や周辺地域の景観との調和に配慮する。	○○にカバーを掛け目立たない色彩に塗装することで、(建築物・周辺環境)との調和に配慮した。/色彩について、周辺との調和に配慮した。/歩道側から後退して配置した。等 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 設置物で配慮した事項があれば記載 </div>																																
	③照明設備の設置に当たっては、夜間景観に有効となるよう配慮する。また、過剰な明るさや回転灯、ネオン管、サーチライト等の光による過剰な演出は避けるよう配慮する。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> ! 照明で配慮した事項があれば記入 </div>	庭園灯はダウンライトとして敷地外歩行者への影響に配慮した。/屋外広告物は内照式とし、過剰な明るさや回転灯、ネオン管、サーチライト等の光による過剰な演出は避けるよう配慮した。/敷地外歩行者への影響に配慮した。/屋外広告物は内照式とし、過剰な明るさや演出は避けるよう配慮した。等																																

※配慮すべき周辺地域とは、対象行為から見通すことが可能な範囲を原則とし、対象行為の位置する大字・町丁目とその隣接する大字・町丁目を最小範囲とします。

※配慮すべき展望地とは、牛久沼を展望する三日月橋袂とします。

※配慮すべき主要な景観資源とは、「シャトーカミヤ本館」、「市民の木」とします。

※高木とは約 5m 以上、中木とは約 1m 以上～5m 未満、低木とは約 1m 未満の樹高のものとしてします。

2 工作物

項目	基準の内容	配慮したこと 又は配慮できなかった理由																																	
共通	建築物の位置、色彩等において、周辺地域の景観を尊重し、その調和に配慮するとともに、地域の良好な景観の形成に資するよう配慮する。	周辺は住宅地の為、その調和に配慮した。等 ! 位置・色彩において景観の調和に配慮した点を記載 行為地に尊重すべき観光資源があれば、配慮点を記載																																	
位置	行為地の選定に当たっては、本市の主要な展望地からの眺望や主要な景観資源を阻害することがないように配慮する。	〇〇の眺望を阻害しないよう配置した。等 ! 行為地の選定段階での配慮はあるか 眺望や景観にどう配慮したか																																	
色彩	<p>外観の色彩（ベースカラー）は、以下の範囲とする。ただし、アクセントカラーとして慎重に用いる場合は、この限りでない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>R</th> <th>YR</th> <th>Y</th> <th>GY</th> <th>G</th> <th>BG</th> <th>B</th> <th>PB</th> <th>P</th> <th>RP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>彩度</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>（日本工業規格 Z 8721 に定めるマンセル表色系による）</p>	色相	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	彩度	4	6	4	2	2	2	2	2	2	2		以下	<p>外観N-〇。一部にアクセントカラーとしてG-〇を使用する。/外壁〇-〇;△-△、屋根□-□。なお、一部の外壁の彩度がYR10を超える部分があるが、使用を水平投影面積の1/〇〇以下とし、アクセントカラーとして慎重に使用します。等</p> <p>! どこに何色を使用するか具体的に記入 ※アクセントカラーを使用する場合は明記する</p>									
色相	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP																									
彩度	4	6	4	2	2	2	2	2	2	2																									
	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下																									

3 開発行為

項目	基準の内容	配慮したこと 又は配慮できなかった理由
方法等	①できるだけ現況の地形をいかし、長大なのり面やよう壁が生じないように配慮する。	元の地形を生かし、法面、擁壁は最小限とした。等 ! 配慮した事項の有無、その理由があれば記入
	②のり面の勾配は、できる限り緩やかにとり、緑化等による修景に配慮する。	法面は芝張とし、緑化に配慮した。等 ! のり面の有無、配慮事項があれば記入 ・勾配がある場合数値(〇度)を記入 ・緑化等の有無、配慮した内容など
	③よう壁は、前面の緑化等により景観への影響の軽減に努めるなど、周辺景観との調和に配慮する。	擁壁前面に緑地を配置した。/デザイン性のある擁壁を採用した。等 ! 擁壁の有無、配慮事項があれば記入 ・前面の緑化等の有無 ・周辺景観との調和に配慮した内容

4 廃棄物等の堆積

項目	基準の内容	配慮したこと 又は配慮できなかった理由
方法等	①周辺の景観を乱さぬよう配置し、可能な限り高さを抑え、積み上げ方等を整然とするよう配慮する。	周辺に影響を及ぼさないよう、高さ、位置に配慮した。/高さ〇m以下とした等 ! 景観に対する配慮内容を具体的に
	②周辺から目立たぬよう生け垣等により遮へいするよう配慮する。	周辺からの見え方に配慮し、生け垣を配置した。等 ! 遮蔽物（生垣等）設置の有無 有の場合配慮した内容を記入